

大学設置支援室 information

NEWS 大学の授業を受講してみませんか？

武雄アジア大学は「開かれた大学として地域へ貢献していくために、多くの皆さまに学ぶ機会を設けられます。

◆公開講座 ～どなたでも参加 OK！知的好奇心を満たす学び～

市民の皆さまに広く開講する講座です。
現在、開学前のプレ講座として市民講座を実施中です。

◆聴講生（ちょうこうせい）～気軽に授業を体験～

特定の科目を大学生と一緒に受講できる講座です。

◆科目等履修生 ～単位取得を目指して本格的に学ぶ～

特定の科目を大学生と一緒に履修し、試験やレポート等を経て、単位取得を目指す講座です。

※詳細は決まり次第、武雄アジア大学ホームページにてお知らせします。



◀武雄アジア大学
ホームページ

武雄アジア大学 ひとくち講座

大学では「地域理解」「国際理解」「経済・経営」など幅広い学問分野を学ぶことができます。来年春の開学を前に、武雄アジア大学の教員からさまざまな分野のお話を「ひとくちサイズ」でお届けします。

国際政治経済論、
海外研修などを
担当します

【韓国ドラマが映す財閥社会】

講師 木下 奈津紀 准教授

韓国ドラマでは、裕福な家庭に生まれた「財閥の後継者」や「令嬢」が登場する物語が多く見られます。『愛の不時着』『相続者たち』『財閥家の末息子』などでは、華やかな富裕層の世界が描かれています。こうした背景には、韓国経済を支えてきた大規模企業集団「財閥（チェボル）」の存在があります。

李承晩政権時代（1948～1960年）、日本企業が残した工場や土地が「旧日本財産」として政府管理下に置かれ、その払い下げを受けた企業が成長して、財閥の基礎を築きました。現在、世界で活躍するサムスンも、この時期に事業を拡大し、後に巨大グループへと発展しました。また、韓国は1950年の朝鮮戦争で大きな被害を受けましたが、1953年の休戦後、急速に復興を進めました。

そして1961年、クーデターで政治権力を握った朴正熙大統領（在任1963～1979年）は「経済開発5カ年計画」を掲げ、造船、自動車、電子製品などの分野を重点的に育てました。財閥企業などは政府の方針に応える形で事業を多角化し、巨大化していきました。政府と財閥が半ば一体となって産業化を進めた結果、韓国は急速に発展したのです。

財閥は、韓国経済を支える欠かせない存在です。しかし一方で、財閥の世襲経営や格差拡大は社会問題となっています。『財閥家の末息子』が描くように、財閥には「光と影」の両面が存在します。韓国ドラマを通して財閥の姿を見つめることは、韓国の現代史や社会の変化を知る手がかりになるでしょう。



次回の「ひとくち講座」もお楽しみに！

武雄アジア大学 市民講座シリーズ

申込不要
参加無料

【第9回】「文化功労者選定記念 特別講演 モンゴル 探究の道」

講師：人間文化研究機構国立民族学博物館名誉教授
武雄アジア大学学長予定者

小長谷 有紀 氏

日本人女性で初めて、交換留学生としてモンゴル人民共和国に留学した小長谷氏が、3つの重要な技術と儀礼からモンゴル遊牧民の自然観を導き出す過程をご紹介します。

日時：12月21日（日）13:00～14:30

場所：市役所1階ホール

※開催スケジュールを変更しました

学校法人旭学園 新大学設置準備事務室

☎ 0952-37-0203

主催：学校法人旭学園 共催：武雄市

詳しくは



▲ホームページ